

## ◆生涯研修部より



### 「居宅介護支援事業所の現場で役立つ実務事務研修」報告

去る五月十四日、二十一日、訪問看護ステーションつくし 松井清之先生にご指導いただきました。日頃から現場で実践されている経験を惜しまずご紹介くださり、法令解釈に基づいた実務事務内容でした。松井先生の支援業務に対する熱い姿勢が伝わるご講義でした。

本研修も三年目となり、当初は三十名定員で募集させていただきましたが、両日とも百名前後のお申し込みをいただき、会場を変更しましたが、それでも数名の方をお断りさせていただいた次第です。受講できなかった皆さまに、紙面を借りてお詫び申し上げます。

#### 【参加者アンケート抜粋】

- 研修で改めて認識した法令、新しく認識出来た業務がありました。今後の業務に役立てたいと思います。
- 基本的な事なのに知らないことが多くあった。目の前の仕事に追われ何となくこなしている業務も、基本を知って実務にあたるのと、そうでないのでは、今後の仕事に大きく影響してくると思った。とても参加になり参加して良かったと思った。
- 自分で勉強しようと思ってもなかなか時間がなく夜も疲れて出来ない。このような機会があつてよかった。
- 実務経験を重ねるにつれ、まさに「自分流になっていないか、原点に戻って確かめ

る」ことをする為に参加しました。はっと思うこともあり勉強になりました。三年未満の実務経験を対象とするよりもこういう観点からは年数を経ている者も十分得るものは大きい。

- 加算、減算について文章だけではわかりにくかった部分がわかりやすく説明いただくことで理解できました。
- 曖昧だった知識が明確になり、本当に気持ちもすっきりした。

年々煩雑になる事務作業の必要性と共に、厚労省から提示されている簡素化できる事務とその基準をご紹介いただいたことは非常に有益だったようです。加算減算の要件は、実地指導時の着目点になりますので、正しく理解することで実地指導に対する漠然とした不安も解消されたことと思います。

受講された皆様の現場でのご活躍を願っております。

#### 「スーパーバイザー養成研修(実践編)」

二十三年度、二十四年度、初級編を修了された方を対象に実践編を開催しました。

それぞれがバイザー、バイザー、参加者となつて実践技量を高め、各自の課題を見出し、回を重ねることにステップアップする機会となりました。

最終日に大牟田天領病院 梅田真嗣先生をお迎えして行った事例検討ではバイザーの持つ課題が明確になり、信頼関係構築における自己開示が《諸刃の剣》となるソーシャルワーク知識と、対象者への人間的理解という深い学びを得ました。

参加者の方からは、バイザー初心者として同じような悩みを抱えながら、お互いに支えられている安心感を得たことが非常に励みになったとの言葉をいただきました。

スーパービジョンの機会が地域に広まり定着すること、実践者を支援すること、そのために当会ができるお手伝いを今後も考えていきたいと思っております。

本年度も盛り沢山の研修を企画しております。定員超過でお断りさせていただいている研修が多いので、お早めの申込をお勧めいたします。

## ◆広報事業部より



### 「第一回 ケアマネ親睦登山の報告」

ケアマネ同士の交流を深めていこうとの目的で、平成二十五年五月二十五日に、山口市の東鳳山へ行ってきました。急な企画にも関わらず、会員、会員の家族、事務局あわせて計十三名の参加となりました。

当日は天候も良く、日陰に入ると自然の風がとても心地良かったです。途中の草花も目を楽しませてくれました。一時間十分程で頂上に到着。頑張って登ったかいもあって、頂上で食べるお弁当はとても美味しかったです。

下山時に会員の方より、「ケアマネ協会でこんな企画をしてもらって嬉しい。企画されたらまた参加します。」と言っていたことができました。皆さん、リフレッシュできて良かったです！

